

平成20年度後学期 TA 活動報告書

TA	2回生	学校臨床心理専攻	臨床心理学コース
TA 採用教員名	相模健人		
TA 採用授業科目名	教育相談論		
採用延べ時間数	授業科目 A : 24 時間、		授業科目 B : 時間

【TA 活用内容】

教育相談論においては「現代の学校におけるいじめ、不登校などの問題の対応を教育相談の観点から学ぶ。特に子どもの問題に対して、いかに学校・家庭・地域といった学校システムが連携して対応できるか、その具体的手法について学ぶ」ことを目的としており、学生の、不登校やいじめに対する固定観念について考え直し、それらの問題に対する考え方、態度を身につけることが必要である。これまで小グループでの討論を行ってきたが、同世代のみの討論では限界があり、そのような考え方を身につけた大学院生の討論の援助が求められる。またスクールカウンセラーを目指す大学院生と教員を目指す学生が様々な意見を交換することにより、双方の立場を理解し、将来の学校現場におけるコラボレーションが進むと考える。

【TA 活用による教育的効果】

学生から「討論ではともだちと意見を交換することで互いどのように感じているのかを共有することができました」、「討論に取り組む機会が多く、様々な意見が聞けてより考えを深められる」、「討論に取り組めさまざまな意見が聞いたのが一番よかった」の意見があり、授業内での小グループの討論がより活発になった。TA 自身も事例についての理解を深めることができた。

【TA 活用上の今後の改善点・課題等】

可能ならばより多くの TA の任用が求められる。